

ティータイムに授業のネタを発見!  
衣・食・住・デジタルなど、家庭科にまつわる  
気になる話題、最新情報をお届けします。

vol.23

# i Tea time

アイティータイム  
2025.12発行  
(年4回発行)

【発行元】  
株式会社  
ディーディーエス

生徒にクイズ!

## 「江戸時代の暮らし」を知ろう!

今回は「江戸時代」に焦点を当てて、  
人々が暮らす<sup>ながや</sup>「長屋」の暮らしをのぞいてみましょう。  
右の町人の会話の中に、  
江戸時代に適さない誤りがあるのですが…  
どれだかわかりますか!?

こたえは  
本紙裏面に  
あるワン!

### 江戸時代ってこんな生活!

#### ●江戸の人口

江戸の町では当時、人口100万人を超えていました。  
町人地に割り当てられた土地面積は、江戸全体のおよそ2割。その人口密度は、およそ67,000人/km<sup>2</sup>と言われており、現在の東京都全体のおよそ10倍にあたります。これは、学校の校庭で500人の人々が暮らすようなものです! それほど多くの人々が暮らしていたのですね。

#### ●江戸の町でメジャーな住まい

超過密な人々の暮らしを支えたのが「長屋」です。  
狭い土地でもたくさんの住まいを構えることができ、「表長屋」と「裏長屋」の大きく2種類ありました。  
表通りに面した「表長屋」には、比較的裕福なわずかな人々だけが住み、その他の多くは路地に並ぶ「裏長屋」で生活していました。玄関と台所がセットになった土間と4畳半のスペースで暮らしたそうです。

よっ!  
昨日**テレビ**で放送  
されていた相撲中継みた?



みたみた!  
寒いから**こたつ**に  
入ってみてたけど、  
相撲取りの迫力すごかったね。



僕たちも  
相撲を取ろうよ!



いいね、じゃあ  
僕が行司をするよ。  
いくよ? はっけよい…  
のこったのこった!



がシャーン!

わー!  
勢いで隣の家の  
**窓ガラス**を  
割っちゃった…。



こら! なにしてんだい!



ごめんなさい…。



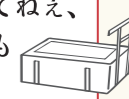
へい、<sup>はいが</sup>**灰買**いでござんすよ〜。  
おや、窓ガラスが  
割れている  
じゃねえですか。



そうなんだよ。  
子供たちが遊んでいたら  
ぶつかっちゃったみたいで。  
**宝くじ**でも当たってくれば、  
いくつ壊してくれたって  
かまわないんだけどね…。



毎度〜こいつあ代金でやんす。  
…ところで、  
ちっと腹ん具合が悪くてねえ、  
**家の厠(トイレ)**を借りても  
よござんすか?



いいよ、あがってきな!  
あら、**郵便受け**  
文が届いているわね。  
誰からだろうねえ。



## 先生のために、授業のために、 ディーディーエスができること。

これまで私たちは、多くの学校を訪問してきました。

そこで目にしたのが、先生方が生徒の将来に真剣に向き合い、興味や理解を深める、  
より良い授業を行おうと奮闘しているお姿でした。

長年培ってきたデジタル技術を生かして、少しでも先生方の熱意にお応えしたい。

その想いを大切に、私たちは様々なサービスを提供していきます。

**DOS**  
Digital Database Solution

株式会社ディーディーエス

03-5819-1255

〒130-0011 東京都墨田区石原 1-37-5

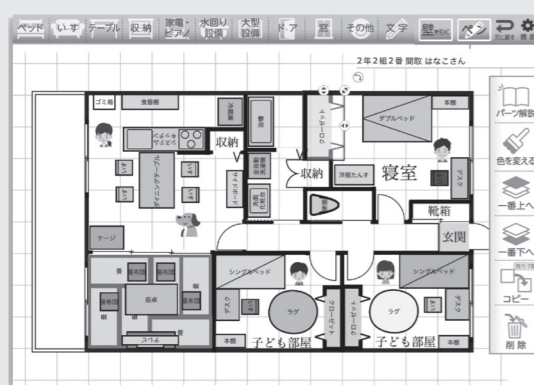
次号は2026年2月を予定しております。

先生方のお声が詰まった教材をお届けします！

## 家庭科デジタル教材 計画シリーズのご紹介

限られた時間の中で、より多くの気づきを生み、試行錯誤できるのがデジタルの魅力。幅広い学習領域を持つ家庭科にデジタルを活用し、先生にやさしく生徒が楽しく学べる教材を作りたい。そんな想いで、たくさんの先生方のお声を聞き生まれたのが、この『家庭科デジタル教材 計画シリーズ』です。デジタルを家庭科の授業の味方に。

### 計画シリーズ 第一弾



すぐにできる！ 間取りづくりのアプリ

## デジタル平面計画

間取りから暮らしをみつめる

<https://heimen.ddsop.jp>

### 計画シリーズ 第二弾



見る×Meal

## ミルミル献立計画

<https://meal.ddsop.jp>

生徒にクイズ！

## 「江戸時代の暮らし」を知ろう！ こたえ合わせ

### 江戸時代のウソ！

#### × テレビで放送されていた相撲中継

テレビはありません。相撲小屋での観戦、また、錦絵と呼ばれる版画で力士を楽しみました。大名の中には、十数人の家臣を相撲観戦に向かわせて、リレー方式で実況を楽しんだ人もいたとか。

#### × 家の窓ガラス

日本の家で窓ガラスが普及したのは、明治以降です。古代ローマ時代から窓ガラスを利用していた外国と比べて、日本での普及が遅かった理由には、障子が窓ガラスの代わりに担っていたことが挙げられます。

#### × 家の厠(トイレ)

家の中にはトイレやお風呂といった水回りの設備はなく、外にあるものを共用で利用していました。特にトイレは共用だったことで、肥料として回収しやすかったこと、また、業者による定期的な回収のおかげで、町を比較的清潔に保つことができたそうです。

#### × 郵便受け

郵便制度が始まったのは、1871年(明治4年)です。当時は郵便受けがなく「手渡し」が主流でした。郵便受けが使われるようになったのは、昭和に入ってから。郵政法の改正で、設置が義務化されました。これは、核家族化の進行や、共働きの家庭が増えたことで、手渡しが難しくなったことが背景にあります。

### 江戸時代のホント！

#### ○ 灰買い

模範的なリサイクル都市とも言われている江戸では、生活ごみとして排出されていた「灰」も、貴重な資源として定期的に回収されました。灰買いによって回収された灰は、主に肥料として再利用されたそうです。

#### ○ こたつ

あまりの寒さに隅田川が凍ることもあったという江戸では、こたつや火鉢といった暖房器具で冬の寒さをしのぎました。今と違って電気は通っていないので、火種は炭火で、火鉢を木枠で囲んだ檜の上に、布団を被せて暖を取りました。

#### ○ 宝くじ

江戸時代にも宝くじがありました！ 当時は「富くじ」という名前でした。もともとは寺社が発行するお守りを当てる運試しが、徐々にお金を当てるくじへと変わっていきました。最盛期には「千両富」といって、最高当選額が1000両のものも。現代の価値にすると、およそ1億円！ 大盛り上がりだったそうです。人々から集まった金銭は、寺社の修繕費に充てられました。

江戸時代は電気が普及していなかったから、暗い時間は「行燈」で灯をもっていたんですって。ろうそくは高価で一般庶民には買えず、菜種油や魚油などを使って行燈を灯していたそうよ〜。

